

村上 松平 議員

(一括質問方式)



①市長3期目4年間のまちづくりについて

②学校給食センターの次期事業について

住み続けたいまちづくりについて

問 先の市長選挙にて、市長は住み続けたいまちづくりとして4つの柱を掲げ、様々な事業を示されていたが、今後4年間でどのようなまちづくりを進めていくつもりか伺いたい。

答 「①安全・安心と防災・減災のまちづくり」では、引き続き肱川の治水対策を強力に推進するとともに、自然災害への備えを強化します。また、経済の道、交流の道であり、時には命の道ともなる松山自動車道の4車線化、大洲・八幡浜自動車道の早期完成を目指していきます。

「②健やかに暮らせるまちづくり」では、地域医療提供体制の確保や子育て支援の充実、スポーツや文化活動などを通じた市民の健康づくり施策をより充実させるとともに、全ての世代が健やかに暮らせることを目指し、切れ目のない支援と体制確保に努めていきます。

「③活力あるまちづくり」では、これまで日本初の城泊や国内最大級の分散型ホテルを実現し持続可能なまちづくりを進めてきましたが、この観光まちづくりのノウハウを生かし、長浜、肱川、河辺地域をはじめとする市内の各地域が有する豊かな自然、文化資源と融合させ、市内全域へ誘客、移住の波を広げていきます。また、基幹産業である農林水産業を稼げる憧れの成長産業へと転換するとともに、南予の玄関口という立地を生かした企業、事業所の誘致や創業支援に取り組んでいきます。

「④未来に希望を持てるまちづくり」では、次の世代へ確実にバトンをつなぐため、市民の皆様と同じ将来像を共有し協働して地域づくりを進めるとともに、未来への投資として大洲市民文化会館建設事業及び長浜港内港整備事業を着実に進めていきます。

健全な財政運営について

問 愛媛県下で2番目に高いと言われている経常収

支比率について、どのように対策を講じていくのか伺いたい。

答 経常収支比率の高止まりは財政の硬直化につながるため、改善に向けた取組に着手しています。

歳出面では、適切な市債発行額の管理に努めていくほか、物件費については、令和8年度の当初予算編成において、予算要求の目標値を提示して、各種業務における仕様書の見直しや節約方法、予算の組み替えなどについて各所属において検討を行うことで歳出予算の見直しを行っています。

一方で、歳入面においても、令和6年度と令和7年度を比較すると、国からの地方譲与税や地方消費税交付金、地方交付税など経常一般財源も増加していることから、経常収支比率の上昇を抑える効果があると考えています。

学校給食センターの次期事業について

問 令和9年度からの大洲市学校給食センター運営事業は長期包括委託事業とされると聞いているが、具体的な対応、スケジュールについて伺いたい。

答 次期事業者の選定は、提案金額だけでなく、提案内容や実績等を総合的に判断する必要があるため、公募型プロポーザル方式を採用し選定します。また、長期にわたる安定的な雇用と効率的な施設設備管理を実現するため事業期間を10年とし、施設の大規模修繕や調理器具等の更新を含む維持管理業務と、給食の調理及び配送等の運営業務を包括的に委託することとしています。

次に、今後のスケジュールについては、本議会での予算の承認後、7月上旬に募集要項等の公表を行い、7月下旬まで参加資格確認申請書を受け付けます。その後、事業者側での提案書作成期間を確保するため、提案書の受付を10月上旬とし、10月下旬に審査委員会において提案書に関するヒアリングを実施する予定です。これらの厳正な審査を踏まえ、11月上旬に優先交渉権者を決定し、12月上旬に次期事業者との事業契約の締結を完了させる予定です。契約締結後は、令和9年3月末までの約4か月間で現事業者と次期事業者との円滑な引継ぎとシミュレーションを行い、令和9年4月1日からの新体制による給食提供に万全を期することとしています。